



学校だより 11月号

令和5年11月1日
大田区立田園調布小学校
校長 本田 幸彦

研究発表会に向けて

校長 本田 幸彦

今月10日(金)に、本校では令和4・5年度 大田区教育研究会教育研究推進校としての研究発表会を開催します。昨年来、体育健康教育について研究を進めてまいりました。今年度は体育科の授業を中心に「自己の学習課題を見だし、粘り強く解決しようとする児童の育成」を研究主題に公開授業、研究発表を行います。

子どもたち一人一人が、「ゴールイメージ(=自分のなりたい姿)」に向かって自ら学習課題を見だし、試行錯誤しながら繰り返し取り組んでいく姿を目指しています。運動好きの児童を育て、授業改善の課題を解決して体力向上も図っていくことがねらいです。

体育は、子どもたちにとって好きな教科の上位にくるものです。一方、「できる、できない」がはっきりしていたり、コロナ禍による運動への様々な影響から運動意欲や体力低下の懸念も指摘されていたりする課題があります。本校では、「運動したい」「体を動かしたい」という子どもたちの気持ちの原点に立ち返り、「できる・分かる」の積み重ねや、「学習課題の可視化(見える化)・意識化」に重点をおいて実践的な研究を行ってきました。

副題に「～『できる・分かる』の積み重ねを通して～」とあります。「できる」だけでなく「分かる」ことが加わっています。一般的に「体育は技能教科だからできると楽しい。できないとおもしろくない、やりたくない」と思われています。けれども、昨今の体育は「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力・人間性等」の3つの資質能力をバランスよく育むことが求められている教科です。「できたことが分かる」「どのようにすればできるのかが分かる」「分かったことを友達に伝える」なども大切な学習内容なのです。

「分かる」ことは、その子なりに自分の動きや感覚について「これはこういうことかな？」と推論することです。推論したことは言葉に置き換えられます。このときに、語彙が豊富だとより動きや感覚を表現しやすくなります。語彙力は普段の学習や生活経験、そして読書によって培われます。10月は読書月間でしたが、読書の効用は、この語彙力を含め想像力や読解力の源となります。語彙が豊かだと、言葉を使つて的確に物事と捉えることができるようになります。自分のめあてについて、振り返るときにより役立つのです。

この「分かる」ということは、突き詰めていくととても奥の深いテーマです。「なにが分かって、なにが分からないか」「分かっていることは正しいのか」など、より踏み込んだ専門的、学術的な追究は今後の課題です。けれども、言葉を投げどころとして「学習課題を見だし、実践し、振り返る」ことで「分かる」ことを加えた運動学習や学び方は、体育の見方・考え方を身に付けることにつながっていくものと考えます。

11月の生活目標 生活指導担当 岩野 健太郎

力を合わせて仕事をやりとげましょう

「みんなで協力して物事に取り組む」ことができるのが、学校生活のよさの1つです。毎時間の授業だけでなく、当番や係、給食や掃除の時間など、様々なところで他者と協力する場面があります。友達と一緒に取り組むことで、新しい見方や考え方に気付くことができたり、達成感を共有したりすることができます。日常生活の中で、友達と力を合わせて過ごしていけるよう、指導していきます。



- 1日(水) 体育朝会 消防署見学(3年)
- 2日(木) たてわり班活動
- 3日(金) 文化の日
- 6日(月) 学年朝会 委員会活動 *SC
- 7日(火)
- 8日(水) 音楽朝会
特別時程・午前授業 小中一貫教育の日
- 9日(木) 午前授業
- 10日(金) 研究発表会 *SC
特別時程・午前授業または5時間授業
- 13日(月) 全校朝会 クラブ活動 自転車教室(3年)
*SC *校長相談日 AM
- 14日(火) 社会科見学(4年)
- 15日(水) 特別時程・午前授業
- 16日(木) 特別時程・5年以外午前授業
就学時健康診断
- 17日(金) 安全タイム *SC
- 18日(土) 土曜授業 算数補習教室
- 20日(月) 全校朝会 たてわり班奉仕活動 *SC
- 21日(火) 特別時程 *校長相談日 PM
- 22日(水) 児童集会 開校記念日 98周年
- 23日(木) 勤労感謝の日
- 24日(金) 人権タイム *SC
- 27日(月) 全校朝会 クラブ活動 *SC
- 28日(火)
- 29日(水) 音楽朝会
- 30日(木) たてわり班活動

※今月の避難訓練は
予告なしで行います。

*SC(スクールカウンセラー): 9:00~17:00(要予約)

*校長相談日: AM(10:00~12:00) PM(16:00~18:00)

運動会

運動会実行委員長 奥村 公朗

運動会の実施に際しまして、御理解と御協力をいただきありがとうございました。子どもたちは練習のときから自分ができる精一杯の力を発揮して活動し、当日でも全力の頑張りを見せていました。今年度はこれまでのような制限はなく、子どもたち同士で演技を目の前で見合うことができました。異なる学年の演技はとても刺激になったようで、来年度以降の表現を披露する意欲にもつながっていました。

運動会を通して、「体を動かすことがより好きになった。」と子どもたちが感じてくれたら嬉しいです。保護者の皆様からいただいた御意見を参考に、次年度の田小の校庭で行われる最後の運動会に向けて検討・改善をしていきたいと思いません。

研究発表会

研究主任 日野 宣彦

本校では、本年度も「自己の学習課題を見だし、粘り強く解決しようとする児童の育成」を目指した授業研究を行ってきました。児童のアンケート結果や授業の様子から、学習課題を見出したり、それを粘り強く解決したりしている姿が見られます。11月10日(金)の研究発表会では、それらの様子や授業からの学びを区内区外から来られる方々に発表させていただきました。本校の研究への取組を参観者の方々にも伝え、保護者の皆様にも授業の様子を見ていただき、自分たちの研鑽にもつなげていきたいと思いません。

今後も引き続き、子どもたちが運動や生活の仕方に対して前向きに捉えていくことができるように努めてまいります。

伊豆高原移動教室

5年担任 小木 和美

10月3日から4日にかけて、5年生は1泊2日の伊豆高原移動教室に行ってきました。日常生活がコロナ禍から徐々に回復しつつあり、5年生の移動教室も久しぶりに実施されました。この日を楽しみにしていた子どもたち。価値ある2日間にするため、一人一人が役割を担い、当日まで計画的に準備を進めてきました。

城ヶ崎海岸でのハイキングでは、自然案内人の方々から説明を受けながら伊豆高原の自然に親しみました。大室山の火山活動によって生まれた不思議な地形や、植物や生き物についてのお話を聞きました。また、施設の体育館で行ったキャンドルファイアーでは、「熱血」「情熱」「団結」の火を灯し、それらを囲みながらゲームをしたり、踊ったりしました。全力で楽しみ、体を動かし、たくさん笑って、仲間たちとの絆を深めました。自分たちの役割を果たすことで成り立つ2日間。責任についても考えることができました。

2日間で見えた自分たちの成長や課題について、次へ生かそうとする前向きな姿勢が素晴らしかったです。今後は、この移動教室で培った経験や力を生かし、更に学年みんなで協力し合い、最高学年に向けて、より充実した日々にしてほしいと思いません。

マラソンタイム

運動タイム担当 熊崎 佳菜

10月30日から11月9日までマラソンタイムを行いました。マラソンタイムが始まる前後には記録会を設定し、練習の成果が児童自身でも感じられるようにしました。

マラソンタイムが始まると、学年によって走る時間は異なるものの最後まで同じペースで走れるように、どの学年も一生懸命取り組む姿が見られました。休み時間の他にも、体育の授業の時間も使って力いっぱい走りました。短い期間ではありましたが、楽しく気持ちよく走る姿は大変素晴らしかったです。これからも走る楽しさや清々しさを伝え体力向上につながるよう指導をまいります。

また、今回のマラソンタイムの取り組みが12月に開催される駅伝大会にもつながる走りになってくれていたらと思っています。



おめでとうございます

養護教諭 中村 麻生子

令和5年度「歯・口の健康週間」図画・ポスター・作文コンクールで入賞しました。池上会館での表彰式は1学期に実施されておりますが、校内でも表彰者をお知らせいたします。

【図画・ポスターの部】

☆金賞☆ *東京都のコンクールに出展されました。

☆銀賞☆

☆銅賞☆

☆佳作☆

